

保土ヶ谷公園周辺エリア

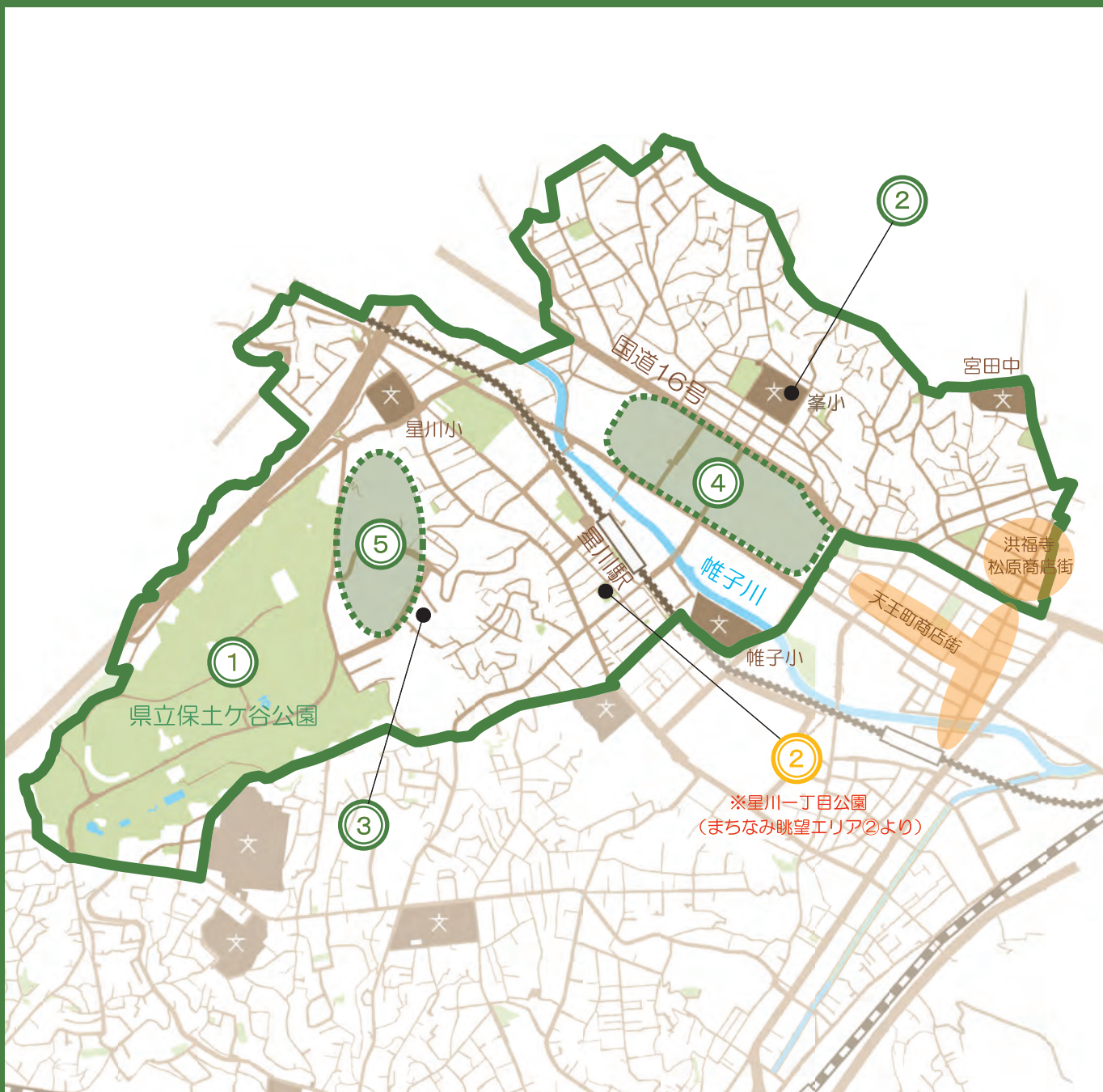


まちの魅力 インデックス



保土ヶ谷公園周辺

- ① 花樹香り緑風吹きわたり歓声ひびく！
- ② 旅するジャガイモ
- ③ 保土ヶ谷の進化を見守って数百年
星川杉山神社
- ④ 人がつむぐ糸 糸がつむぐ町
- ⑤ 石器時代から団地『明神台』



※星川一丁目公園
(まちなみ眺望エリア②より)



春

四季折々の花や樹が
公園内のいろいろな
ところでみられます。



夏



秋



冬

園内はさまざまな目的で
利用され、ボランティア
活動も行われています。

施設

管理事務所へ行ってみよう！

自由に休める多目的スペースのほか、いろいろな展示が行われているギャラリーや地元の生乳を使ったソフトクリームのあるカフェもお隣の棟にあります。



管理事務所外観



ギャラリーコーエンのアート展示



ザイムカフェにはデッキ席もあり

四季の彩り

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

ここに誇れる3大スタジアムあり！

BASEBALL

現在「保土ヶ谷・神奈川新聞スタジアム」を名乗るここは、ナイターもOK。7千人超えの内野スタンドもあり、神奈川県民の愛する高校野球開催時には、応援の皆さんでにぎわいます。改修前の2代目は野球漫画「ドカベン」にも登場している、歴史ある野球場です。



SOCCER

クラブワールドカップ出場チームや日本代表など、一流選手も訪れ使用する、ふかふかの天然芝サッカー場。この芝生と触れ合うイベントもあり、感触を全身で体験できるのも楽しみ！こちらにもスタンドがあり観戦可能です。

RUGBY

ちびっこ向けのスクールから社会人の大会まで幅広く使用されている、緑の美しい人工芝フィールドのラグビー場。自由に観戦できることも多く、最近では女子7人制ラグビーでも使用しています。階段式のスタンドから見渡すと、広々とした良い眺めです。



東京ドームほぼ7つ分の広さがある県立保土ヶ谷公園は、街中にありながら、三つのスタジアムや軟式・少年両野球場、体育館、テニスコートのほか、夏のプールや健康足踏みサークルまでそろっている運動公園です。そぞろ歩けば、広々としたピクニック広場や池・流れもあり、子ども向けの遊具も点在。かかえきれないほどの幹幅があるタブの樹やアートホール前の噴水広場、季節ごとに彩られる花壇も美しい。アップダウンもあってウォーキングにも良し。多彩な表情を切り取りに、カメラを持って出かけてみましょう。

◆◆◆この魅力の語りべは、松尾 とし子さんです。

ジャガイモが旅立つ町

料理に、お菓子にと私たちの食卓に欠かせないジャガイモ。一体どこからやってきたのか、思いをめぐらせたことはありますか？…実はこの保土ヶ谷は、その昔ジャガイモが全国に旅立った町だったのです。



農事試験場と保土ヶ谷いも

南米原産と言われるジャガイモが保土ヶ谷で栽培され始めたのは、江戸時代の末期。起伏の多い地形が栽培に向いていたようで、初めは自家用に広まりました。1908年（明治41年）に、今の峯小学校の場所に県の農事試験場ができ、栽培はますます盛んになりました。ここでは、栽培方法の研究などが行われました。大正から昭和にかけては、種イモを扱う問屋が区内に5軒あったといいます。質がいいと知られるようになった種イモは、保土ヶ谷駅から全国の産地へと出荷され、「保土ヶ谷いも」の名を高めていきました。また、ジャガイモからでんぷんを作る工場ができるなど、加工品としても重要な産業でした。

久しぶりだね。



農事試験場跡地の峯小学校へ帰ってきた(?) ジャガイモ。

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

②

ほどがや語りべ集

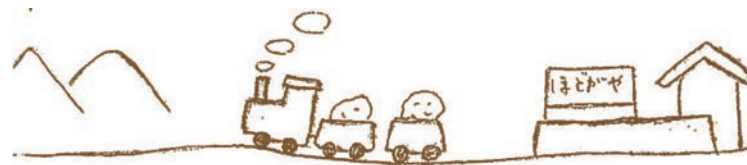
保土ヶ谷公園周辺エリア

②

子孫は全国に?

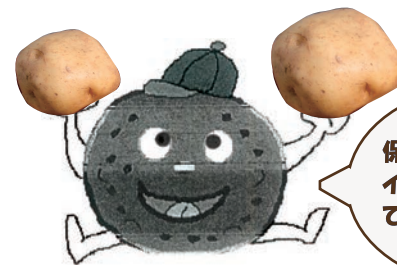
大きな役割を果たしていた農事試験場ですが、近くの工場のばい煙が問題になり、1921年（大正10年）に、今の鎌倉市に移転しました。さらに、戦後の都市化などによって、ジャガイモの区内での生産も大きく減っています。

今のまちなみに、当時の様子が伝わるものはあまり残されていません。それでも、試験場が面していた古い街道に立つと、当時の活気を想像してみたいくなります。全国に旅立った保土ヶ谷いもは、どこでどうしているのかとも。そうして歩いて、家に帰った私たちを待っているのは、どこかで大きく育てふるさとに帰ってきた保土ヶ谷いもの子孫なのかもしれません。



ほどじゃが焼酎

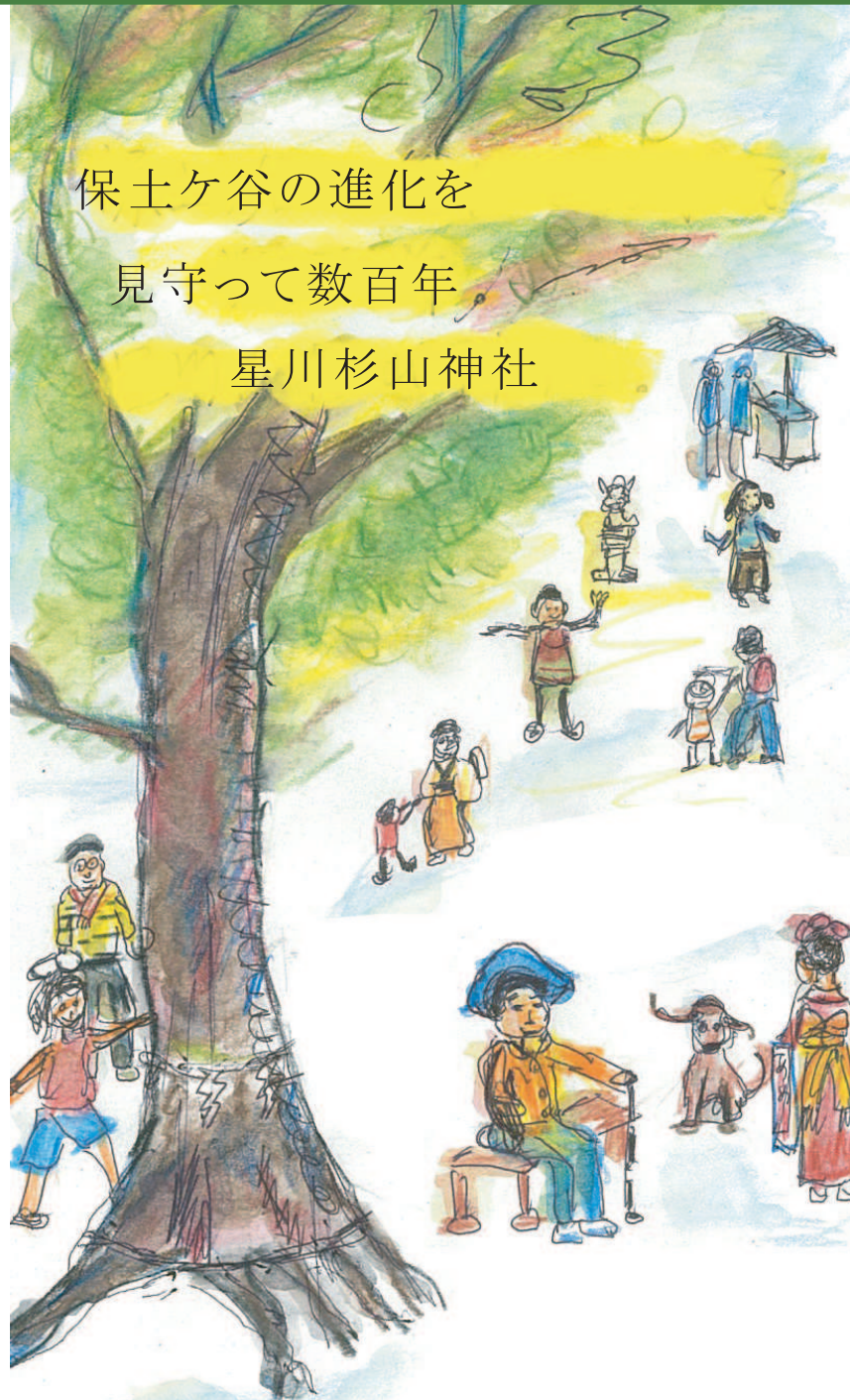
☆区制80周年記念で誕生!



保土ヶ谷のジャガイモ「キタアカリ」で造った焼酎だよ!

キタアカリくん

◆◆◆この魅力の語りべは、北川 博之さんです。



保土ヶ谷の進化を
見守って数百年
星川杉山神社

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

語りべの思い出



明神台団地のそばにある杉山神社に行った。着物姿の女の子やおしゃれをした男の子が家族に連れられてお参りに来ている。——七五三だった。

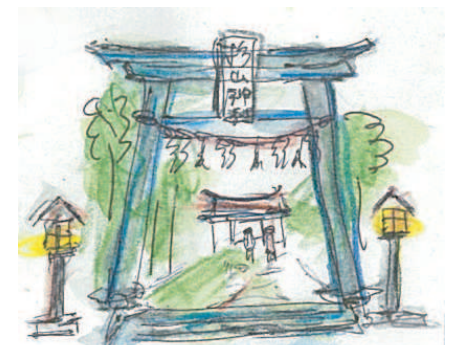
娘や息子たちが就職するまでは、毎年元旦には、祖父母も一緒に参拝しに来ていた。大切な事や人のために幸運を祈ってから、甘酒をフーフー言いながら飲むのが楽しみだった。

たくさんの人ばかり。それでもどこかのんびりした雰囲気を見失わないのが杉山神社のいいところ。

そしてクスノキやケヤキの立派なこと！大きな木は見ていて飽きない。

しばらくして、鳥居を通過して静かな住宅地へ出れば、急な坂道の向こうにはランドマークタワー。

杉山神社に来れば、この忙しい時代にホッとされた気持ちになれるのです。



商店街の「ふしぎ」

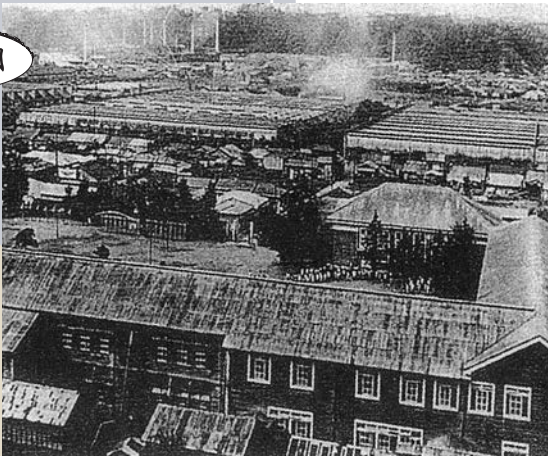


前からは不思議に思っていることがありました。
天王町にある天王町商店街、通称「シルクロード天王町」。メインストリートは駅から延びるわけでもなく、両端は行き止まり。古い街道でもなさそうです。
なぜこの道が栄えたのか？ その秘密は、歴史の中にある。

巨大工場誕生！

明治後期

富士瓦斯紡績



「フォトアルバム 思い出の保土ヶ谷」

天王町商店街の西の端には、昔、絹糸などを作る「富士瓦斯紡績」という工場がありました。敷地は、今のショッピングセンターから大型マンション、保土ヶ谷区役所の周辺まで。働く人は6,000人を超える巨大な工場でした。

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

横浜指折りのにぎわい！

工場の門から伸びるおよそ600mの道、今の天王町商店街は「紡績表門通り」と呼ばれ、工場の休日には、外出する女性の従業員で活気に満ちていました。また、彼女たちとの出会いを求めて、近隣の農村からは若い男性たちも集まってきたとか！

そのにぎわいは、当時日本有数の繁華街とされていた横浜伊勢佐木町に次ぐほどだったと言われています。



「フォトアルバム 思い出の保土ヶ谷」



工場は去っていても…

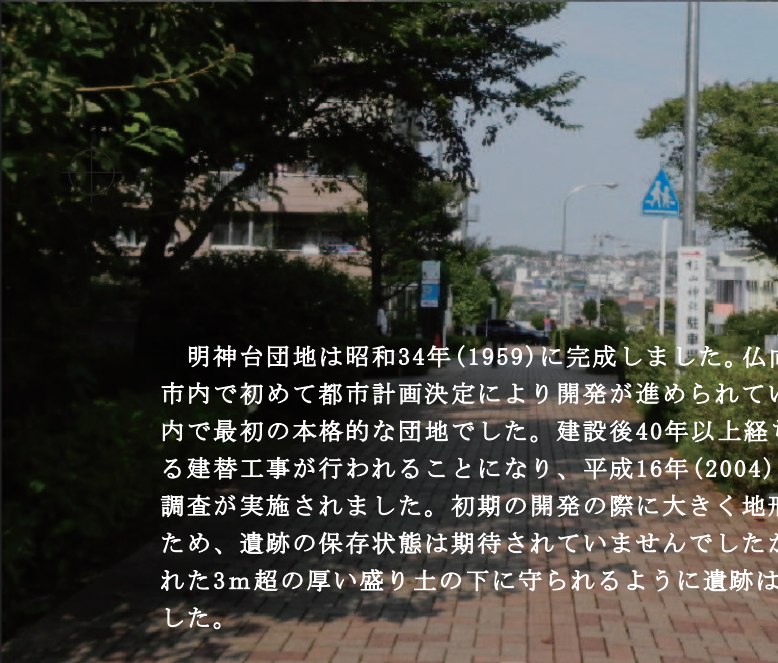
第二次世界大戦による空襲で大きな被害を受け、富士紡績の工場は保土ヶ谷から姿を消しました。しかし、町にはその面影が残されました。天王町商店街は、家具を扱う店が多いことでも知られていました。それは、女性の従業員たちが退職する時、この町で嫁入り道具を手に入れて、故郷へと帰っていったから。町の歴史や記憶は何気ない街角に隠れて、見つけられるのを待っているようです。



◆◆◆この魅力の語りべは、北川 博之さんです。



急坂を上った崖の上、標高五十メートルほどの平坦な丘にある見晴らしの良い明神台団地の下には、縄文時代・弥生時代から古墳時代・奈良時代の遺跡、何と旧石器時代のナイフ形石器までありました。



明神台団地は昭和34年(1959)に完成しました。仏向町団地と共に市内で初めて都市計画決定により開発が進められていたもので、区内で最初の本格的な団地でした。建設後40年以上経ち、老朽化による建替工事が行われることになり、平成16年(2004)に本格的な発掘調査が実施されました。初期の開発の際に大きく地形が改変されたため、遺跡の保存状態は期待されていませんでしたが、外から運ばれた3m超の厚い盛り土の下に守られるように遺跡は残されていました。

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

⑤

ほどがや語りべ集

保土ヶ谷公園周辺エリア

⑤

“時代”を超えた団地



※ 弥生時代後期の住居跡

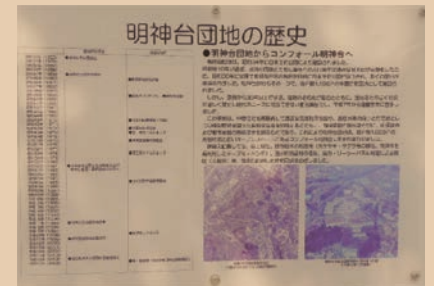
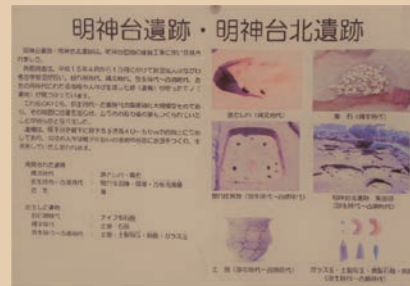
「団地の下に発見された、古代の団地跡」（「埋文よこはま11」より）。遠い昔から今に至るまで明神台の地には、いろいろな時代の多くの人が住み続けています。まさに、時代を超えた団地です。



※ 明神台遺跡の弥生式土器

明神台遺跡と明神台北遺跡からは多くの時代の遺構や遺物が発見されましたが、特徴的なのは弥生時代後期から古墳時代前期の遺構群で、台地上に50軒を上回る住居跡などが発見されたことだそうです。

※公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター提供



明神台団地の周辺には、解説板も設置されています。お散歩しながら訪れてみてはいかがでしょうか。

◆◆◆この魅力の語りべは、山田 裕子さんです。